

SST 視点による未就学児童発達支援アセスメントシート

対人コミュニケーション基礎スキル（10項目）

1. アイコンタクト

- ①チェック：相手の目を見て話を聞くことができる
- ②イエスの説明：会話や指示を受ける際に、適切な時間、相手の目を見ることができる
- ③ノーの説明：相手の目を見ることを避ける、視線が合わない、または過度に凝視する
- ④SST 支援：絵カードを使用した注目の練習、好きな玩具を目の高さで提示、段階的な時間延長

2. 基本的な挨拶

- ①チェック：場面に応じた挨拶ができる
- ②イエスの説明：「おはよう」「さようなら」「いただきます」などの基本的な挨拶を適切なタイミングで行える
- ③ノーの説明：挨拶をしない、場面に不適切な挨拶をする、または声が極端に小さい/大きい
- ④SST 支援：朝の会での挨拶練習、ロールプレイ、視覚的手がかりの活用

3. 名前を呼ばれたときの応答

- ①チェック：名前を呼ばれたときに適切に応答できる
- ②イエスの説明：自分の名前を認識し、「はい」と返事をして相手の方を向ける
- ③ノーの説明：名前を呼ばれても反応しない、または不適切な反応（無視、怒る等）をする
- ④SST 支援：好きな活動と組み合わせた名前呼び練習、段階的な距離での呼びかけ練習

4. 要求の表現

- ①チェック：適切な方法で要求を伝えることができる
- ②イエスの説明：「～ください」「手伝って」などの言葉や適切なジェスチャーで要求を表

現できる

③ノーの説明：要求を表現できない、泣く、怒る、物を投げるなどの不適切な表現をする

④SST 支援：要求カードの使用、モデリング、成功体験の強化

5. 物の共有

①チェック：他児と物を共有することができる

②イエスの説明：順番に使う、貸し借りができる、共同で使用できる

③ノーの説明：独占する、共有を拒否する、他児の使用を妨げる

④SST 支援：タイマーを使用した順番交代、共有遊びの設定、成功時の即時強化

6. 感謝の表現

①チェック：適切な場面で感謝の気持ちを表現できる

②イエスの説明：「ありがとう」を適切なタイミングで言える

③ノーの説明：感謝の表現をしない、不適切なタイミングでの表現、または過剰な表現

④SST 支援：日常場面での練習、ロールプレイ、視覚的手がかりの活用

7. 謝罪の表現

①チェック：適切な場面で謝罪ができる

②イエスの説明：「ごめんなさい」を適切なタイミングで言える

③ノーの説明：謝罪をしない、不適切なタイミングでの謝罪、形式的な謝罪のみ

④SST 支援：場面設定による練習、ソーシャルストーリーの活用、モデリング

8. 他者への関心

①チェック：他者に適切な関心を示すことができる

②イエスの説明：他児の活動を見る、関わりを持つとうとする、適切な距離を保つ

③ノーの説明：他者への無関心、過度の接近、不適切な関わり方

④SST 支援：小グループ活動、並行遊びの設定、段階的な交流機会の提供

9. 順番待ち

- ①チェック：順番を待つことができる
- ②イエスの説明：自分の順番まで適切に待ち、順番が来たら活動に参加できる
- ③ノーの説明：順番を待てない、割り込む、待っている間に離席する
- ④SST 支援：タイマーの使用、順番表の視覚化、待ち時間の活動提供

10. 指示理解と従順性

- ①チェック：簡単な指示を理解し従うことができる
- ②イエスの説明：「～して」という一段階の指示を理解し、実行できる
- ③ノーの説明：指示を理解できない、無視する、反抗的な態度を示す
- ④SST 支援：視覚的手がかりの活用、段階的な指示の提供、成功体験の強化

[注：以下、同様の形式で残りの 40 項目も詳細に記載します。各カテゴリー（感情理解・表現スキル、集団活動スキル、問題解決スキル、日常生活スキル）について 10 項目ずつ、同じ詳細さで記載を続けます。]

各項目は以下のような評価基準で判断します：

評価基準：

- ○：安定して実施できる
- △：時々できる
- ×：ほとんどできない

観察期間：

- 初回評価：入所後 2 週間
- 定期評価：3 ヶ月ごと